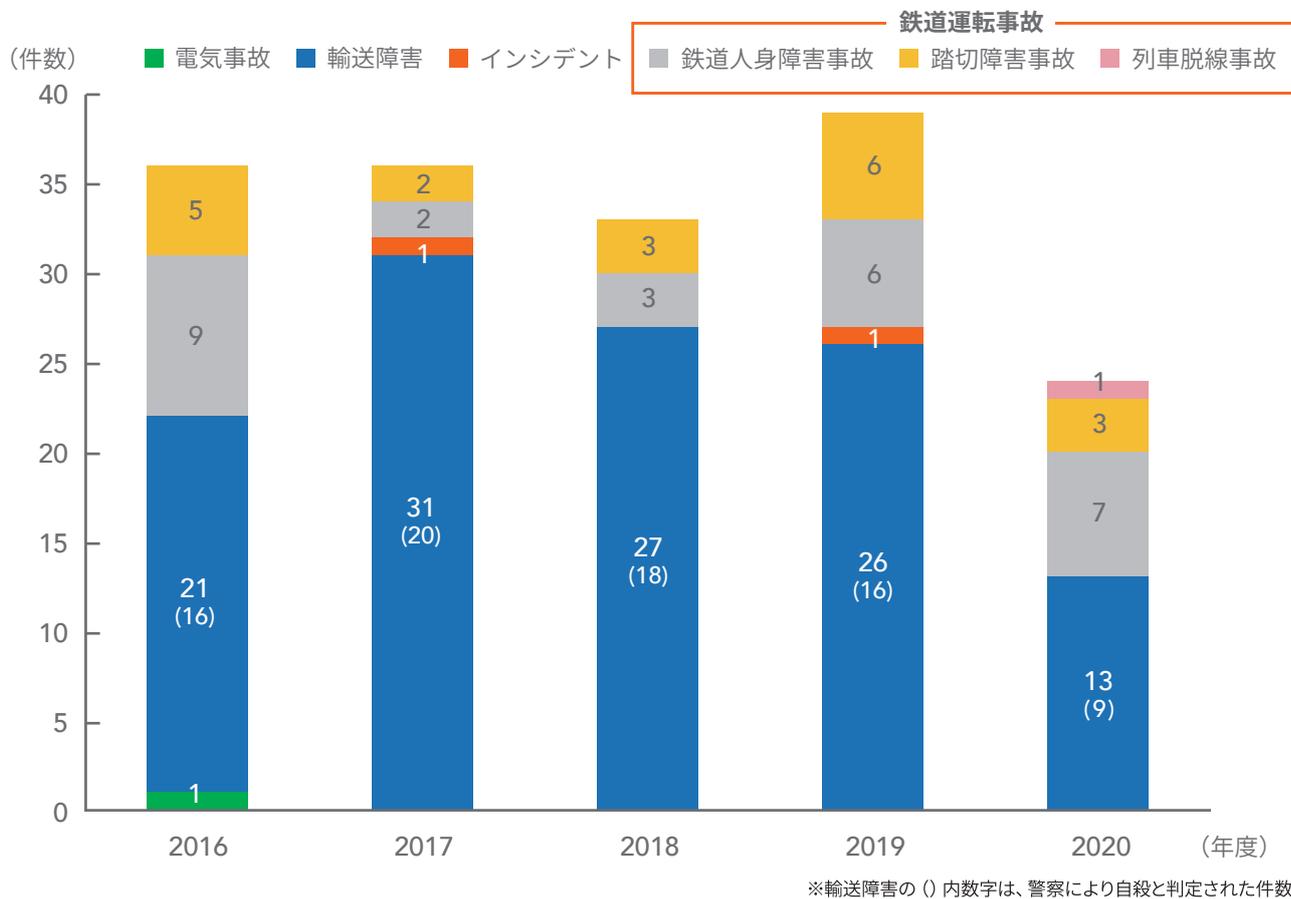


## 04 | 鉄道運転事故等の発生状況

### 鉄道運転事故等の発生状況

過去5年間の鉄道運転事故、インシデント、輸送障害などの発生状況は以下の通りです。



#### 01 鉄道運転事故の発生状況

鉄道運転事故とは、法律により国土交通省に報告することが定められている事故のことで、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故があります。2020年度は踏切障害事故が3件、鉄道人身事故が7件発生しました。なお、踏切障害事故3件は、すべて遮断された踏切への進入によるものでした。

#### 02 インシデントの発生状況

インシデントとは、鉄道運転事故には至らなかったものの鉄道運転事故が発生する状況であったと認められる事故をいいます。2020年度は、インシデントの発生は有りませんでした。

#### 03 輸送障害の発生状況

輸送障害とは、鉄道運転事故以外で、列車に運休や30分以上の遅れが発生した事態をいいます。2020年度の輸送障害は13件発生しました。4件は自然災害や線路内への人や自動車の立ち入りが原因で、9件は警察により自殺と断定されています。

## 主な輸送障害の概要

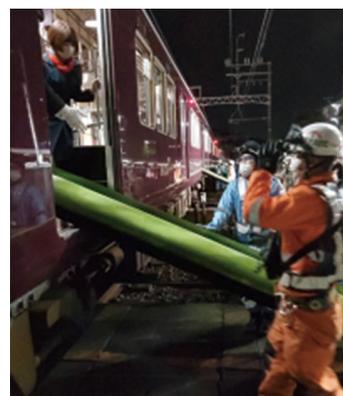
日時	2020年7月14日(火) 9時22分
場所	甲陽線 苦楽園口駅構内
概況	甲陽園駅発夙川駅行き列車が、苦楽園口駅を出発する際、起動できなかったことから運転を取消しました。
原因	電車を加速・減速させるモータの電流を制御する装置(制御装置)の接触器において、高電圧線と低電圧線間に異物(埃など)が入り、低電圧回路に高電圧の電流が流れたことにより、制御装置が損傷し起動できなくなりました。
対策	当該形式車両において、制御装置内で異物が混入するリスクを取り除くとともに、接触器などの清掃を強化しました。

## 列車脱線事故の概要

日時	2020年11月23日(水) 19時43分
場所	神戸線 六甲～御影駅間 高羽(たかは)踏切道
概況	<p>大阪梅田駅行特急列車が六甲～御影駅間を走行中、高羽踏切道(第1種踏切道)手前に差し掛かった時、同踏切道山側の完全に降下している遮断かんを押し上げて上り線軌道内に侵入する自動車を発見しました。運転士は短急気笛吹鳴と同時に非常制動の処置をとりましたが、当該自動車と当該列車の1両目前面左側下部が接触し、大阪方1両目第一台車が山側に約40cm脱線した状態で停止しました。</p> <p>負傷者は、軽症のお客さまが1名。</p> <p>20時09分に大阪梅田駅と夙川駅間で折り返し運転を開始しましたが、夙川駅と新開地駅間では運転を終日見合わせました。営業終了後より復旧作業を開始し、翌24日の復旧作業完了後、運輸安全委員会の運転再開許可を受け、上り線が9時21分、下り線9時25分に運転を再開しました。</p>
原因	踏切道横の坂道に停車した自動車の駐車ブレーキの効きが十分ではなかったため、自動車が坂道を転動し踏切道内に侵入したと推測されています。



車両被害状況



避難誘導の様子